

# 第3学年 算数科学習指導案

2組 計38人（男子16人，女子22人）  
指導者 植田龍童

## 1 単元 三角形

### 2 単元の目標

三角形についての観察や構成などの活動を通して、三角形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の特徴を捉えたり、図形としての角の意味について理解したりすることができる。

### 3 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
構成要素に着目して、二等辺三角形や正三角形の特徴を進んで調べようとしたり、それらを敷き詰めてできた形や模様的美しさに気付いたりしようとしている。	構成要素に着目して、三角形を分類する方法を考えたり、二等辺三角形や正三角形のかき方や作り方を考えたりしている。	構成要素に着目して、二等辺三角形や正三角形を弁別したり、かいたり、作ったり、敷き詰めたりすることができる。	二等辺三角形や正三角形の特徴や図形としての角の意味を理解している。

### 4 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

これまでに子どもたちは、第1学年において、身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴を捉えたりするなどの図形についての理解の基礎となる経験を多くしてきている。また、第2学年において、図形を構成する要素である直線、直角、頂点、辺、面に着目することによって、三角形や四角形、そして正方形や長方形、直角三角形について理解してきている。そして、第3学年において、円の中心、半径、直径という構成要素に着目することで、誰もが同じ大きさ、同じ形の円をかくことができるようになってきている。さらに、これらの図形を弁別したり、かいたり、作ったり、敷き詰めたりする算数的活動を通して、図形についての感覚を豊かにしてきている。

これらを基に本単元の学習では、「図形を仲間分けするときは、構成要素で考える。」という「基盤となる考え方」に着目させる。具体的には、二等辺三角形や正三角形を構成したり観察したりする活動において、辺の長さに着目することで、二辺の長さが等しい三角形を二等辺三角形といい、三辺の長さが等しい三角形を正三角形という二つの三角形の特徴を捉えることができるようにする。その際、円形ジオボードを用いて三角形の仲間分けをする活動、定規やコンパスを用いて作図する活動、合同な二等辺三角形や正三角形を敷き詰める活動などの算数的活動を通して、図形についての見方や感覚を豊かにすることができるようにする。さらに、折り紙を切ったり折ったりして二つの角を重ね、角の大きさを比べる活動を通して、図形の構成要素としての角について理解できるようにする。

この学習で着目した「図形を仲間分けするときは、構成要素で考える。」という「基盤となる考え方」は、第4学年で学習する角やいろいろな四角形の学習につながっていく。

#### (2) 本単元を構成する学習内容と「基盤となる考え方」

第1学年「かたち」

積み上げたり、転がしたりする活動を通して、かどの有無や数に着目し、「まる」、「さんかく」、「しかく」などの形を見付けることができる。

第2学年「三角形と四角形」

構成要素である辺の数に着目し、三角形や四角形について理解することができる。また、辺の長さや直角などの構成要素に着目し、正方形や長方形、直角三角形について理解することができる。

「図形を仲間分けするときは、構成要素で考える。」

「基盤となる考え方」

第3学年「三角形」

三角形についての観察や構成などの活動を通して、三角形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の特徴を捉えたり、図形としての角の意味について理解したりすることができる。

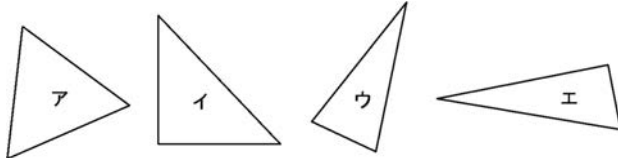
(3) 子どもの実態（調査日 平成27年9月14日 調査人数 37人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については以下のとおりである。（数字は人数）

【調査①】 次の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。（知識・理解）

- ① 3本の直線でかこまれた形を（ア）といいます。（28）
- ② 三角形のかどの点を（イ）といい、まわりの直線を（ウ）といいます。（19）
- ③ 三角形のへんは（エ）本、ちょう点は（オ）こあります。（35）
- ④ 直角のかどのある三角形を（カ）といいます。（34）

【調査②】 直角三角形はどれでしょう。（直角三角形の弁別）



正答 イ・エ (10)  
イのみ (25)  
その他 (4)

【調査③】 点と点を直線でつないで、三角形をかきましょう。（三角形の作図）

- ・直角三角形 (12)
- ・正三角形 (3)
- ・その他の三角形 (8)
- ・二等辺三角形 (13)
- ・直角二等辺三角形 (14)

【調査④】 長方形の紙を折って、正方形を作りましょう。（正方形を作る活動）(6)

## 5 指導に当たって

### (1) 「自分事の問い」をもつための手立ての充実【研究内容1】

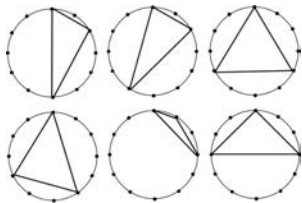

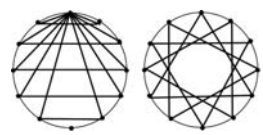

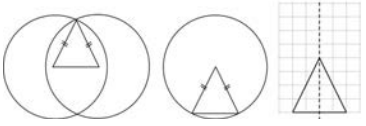
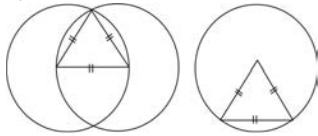
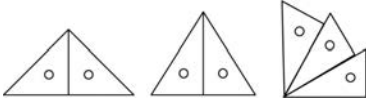
本単元では、「図形を仲間分けするときは、構成要素で考える。」という「基盤となる考え方」に着目することで、「自分事の問い」をもつことができると考える。子どもたちは前単元「円と球」において、円の中心を通り、円の周りから周りまで引いた直線を直径といい、直径の長さは、半径の長さの2倍になるということを学習している。そこで、円形ジオボードを用いて円と三角形の関係を考えながら様々な三角形を作る活動を行うことで、「動かすと重なりそうだな。同じ三角形かな。」「どのような仲間に分けることができるのかな。」という疑問から「辺の長さに着目すると仲間分けできそうだな。」という「自分事の問い」をもつことにつなげていく。また、定規やコンパスを用いて作図する活動や折り紙を切ったり折ったりして二等辺三角形と正三角形を比較しながら構成していく活動を行う。本時では、折り紙で正三角形を作る活動を通して、「三つの辺が等しい長さになる頂点はどこになるのかな。」「折り紙をどう折ると等しい辺の長さになる頂点を見付けることができるのかな。」など等しい辺の長さや頂点に着目しながら「自分事の問い」をもつことができるようにする。

### (2) 「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」の設定【研究内容2】

「高め合う」過程に入る前に、ペアや3人グループでの「学び合い」を行う。その際、「図形を仲間分けするときは、構成要素で考える。」という「基盤となる考え方」に着目しながら自分の考えを伝えたり、友達の発表を聞いたりする。「学び合い」において自分と友達の考えを比較したり、分類・整理したりすることで、自分の考えに自信をもったり、新たな考えを付け加えたりすることができるようにする。また、多様な考えがある場合は、電子黒板にそれらの考えを提示することで、どのような考えなのかをペアや3人グループで読み取ることができるようにする。本時では、まず「折り紙をどう折ったら、正三角形の頂点が分かるのか自分の考えと比べながら聞こう。」という「学び合い」の視点を確認する。次に、等しい辺の長さや頂点に着目しながら、互いの考えを伝え合うようにする。その際、「どうしてこの辺で折るといいの。」（質問）、「折り方は違うけど、どちらの折り方でも頂点を見付けることができるね。」（付加・修正）、「そうか、やっぱりこの折り方でよかったんだ。」（強固）など、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

### (3) 自己の変容を実感できる評価の在り方【研究内容3】

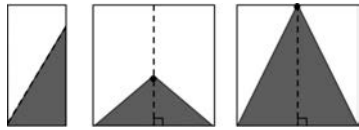
「まとめる」過程で、等しい辺の長さや角の大きさという構成要素に着目して、学んだことを確認したり活用したりする適用問題や発展問題に取り組む。本時では、「折り紙を半分に折り曲げた底辺の部分が10cmのとき、定規を使って正三角形を作ろう。」という適用問題に取り組む。その際、前時で二等辺三角形を作った活動を振り返ることで、正三角形は二等辺三角形の特別な形であることや、中央の折り目に向かって20cmのところを頂点とすれば、三つの辺の長さが全て等しくなるということに気付くことができるようにする。このように、等しい辺の長さについて折り紙を折って見付ける活動と底辺の長さが10cmという数で見付ける活動を関連付けながら考えることで、図形についての感覚を豊かにすることができるようにする。

過程	主な学習活動	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></div> 学習問題                 <div style="width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; margin-left: 10px; margin-right: 5px;"></div> まとめ             </div>	教師の指導 ◇ICT活用
つかむ・見通す③	1 円形ジオボードを使って様々な三角形を作る。 	① 円の中には、どんな三角形ができるかな。 いろいろな三角形ができるけど、ボードを回すと同じ形になる三角形もあるんだね。	○ 円と三角形の関係を考えたり、合同な三角形に気付いたりしながら、作った三角形をノートに記録することで、三角形を整理することができるようにする。 ○ これまでの図形の仲間分けを振り返り、「構成要素で考える」という「基盤となる考え方」に気付くことができるようにする。 図形の構成要素である辺の長さに着目して、三角形を分類することができたか。 【考え方：操作、発言】
	2 間の点の数やコンパスを使って辺の長さを調べ、作った三角形の仲間分けをする。 	② どういうふうに仲間分けをすることができそうかな。 辺の長さで仲間分けすると、三つの仲間に分けることができたよ。	◇ 二等辺三角形や正三角形を重ねたりずらしたりして作った形をタブレットPCで写真に撮り、電子黒板に提示することで、全体で話し合いながら様々な形を見付けることができるようにする。
	3 形の違う二等辺三角形を重ねたり、正三角形をずらしたりしながら、形を作る。 	③ 二等辺三角形や正三角形でいろいろな形を作ろう。 二等辺三角形は、クリスマスツリー、正三角形では、風車やしゅりけんができたよ。	○ ドット図に様々な二等辺三角形を描き、コンパスを使って辺の長さを測ったり、紙を切り抜いて作った三角形を折ったりして確認する。その際、このドット図では、正三角形が描けないということに気付くことができるようにする。
調べる・高める⑧	4 ドット図の三つの点を結んだり、色棒を組み合わせたたりして、二等辺三角形や正三角形を作る。 	④ 二等辺三角形や正三角形を作るには、どの点を結べばいいのかな。 二等辺三角形は、真ん中の点を見付けると簡単に作れるね。でも正三角形は難しい。	○ 方眼での作図や円の半径はどれも等しいということを確認することで、円の半径や垂直二等分線に着目して二等辺三角形の作図の方法を考えることができるようにする。また、正三角形の作図の方法にも生かすことができるようにする。
	5 コンパスを使ったり、ノートの方眼を使ったりして、二等辺三角形を作図する。 	⑤ 二等辺三角形のかき方を考えよう。 二等辺三角形にある同じ長さの辺をかくときは、コンパスを使うとかけるね。	○ 二等辺三角形や正三角形のかき方を考え、コンパスを使いまくることができたか。 【技能：操作、ノート、発言】
	6 二等辺三角形を作図する方法を基に、正三角形を作図する。 	⑥ 正三角形をかくにはどうすればいいのかな。 二等辺三角形と同じようなかき方でかけるね。円の半径を使う方法もあるんだね。	○ 三角定規で形を作る活動を通して、等しい辺の長さに着目したり、いくつかの角を集めると直角になるということに気付いたりすることができるようにする。
	7 二つの三角定規を重ねたり、同じ三角定規をいくつか集めたりして形を作る。 	⑦ 三角定規を重ねると、どんな形ができるかな。 等しい長さの辺を重ねると二等辺三角形や正三角形ができるね。直角も作れるね。	



〔前頁の続き（調べる・高める⑧）〕

8 折り紙を使って、二等辺三角形を作り、その作り方を説明する。

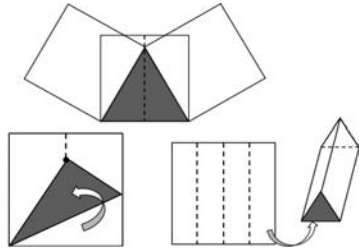


⑧ 折り紙だけで二等辺三角形が作れるかな。

折り紙の真ん中を折り曲げると、簡単にたくさんの二等辺三角形が作れるね。

○ 作り方の説明だけでなく、作った二等辺三角形を比べることで、全ての頂点が垂直二等分線上にあるということに気づき、辺の長さや角に着目して説明することができるようにする。

9 二等辺三角形の作り方を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え説明する。(本時)



⑨ 1枚の折り紙で正三角形を作るには、どうすればいいのかな。

底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて、真ん中の折り目に合わせて考えると頂点が分かって正三角形を作ることができるね。

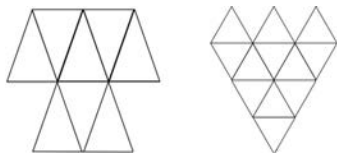
○ 二等辺三角形の作り方を活用しながら正三角形の作り方を考え、説明する活動を通して筋道立てて考えることができるようにする。

◇ 友達の考えを電子黒板に提示することで考えを読むことができるようにする。

正三角形の定義を基に、作り方を考え、説明することができたか。

【考え方：操作、発言】

10 二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて、様々な形を作り、隠れている形を見付ける。



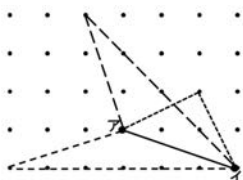
⑩ どんな形が隠れているかな。

魚や着物、チューリップなどの形の中に、大きさの違う三角形や四角形など、いろいろな形が見えるね。

○ 敷き詰めてできた形を観察することで、他の図形を見付けたり、美しさを感じたりするなど図形についての見方や感覚を豊かにすることができるようにする。

二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて、様々な形を作ろうとしていたか。【関・意・態：操作、発言】

11 ジオボード上の2点に輪ゴムをかけて直線アイを作り、その直線アイが一边となる二等辺三角形を考える。



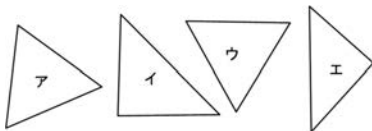
⑪ もう一つの頂点はどこになるのかな。

辺アイを二等辺三角形のどの辺にするか決めると、頂点を見付けることができるね。

○ 作った二等辺三角形を比較することで、辺アイを二等辺三角形のどの辺と考えるかによって頂点が変わってくることに気付くことができるようにする。

どこが頂点になるのか二等辺三角形の性質を基に、考えることができたか。【考え方：操作、発言】

12 様々な二等辺三角形や正三角形を作図し、弁別する。



⑫ 何という三角形か、どうすれば分かるかな。

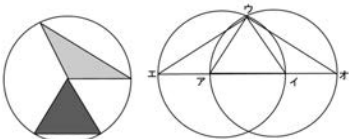
コンパスで測ったり、折って重ねたりして辺の長さを調べると、どんな三角形か分かるね。

○ これまで学習してきた二等辺三角形や正三角形の構成要素である辺の長さや角に着目し、作図したり弁別したりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形についての理解を更に深めることができるようにする。

二等辺三角形や正三角形を作図したり弁別したりすることで、理解を深めることができたか。

【知・理：操作、ノート、発言】

13 円の中にある三角形について、円の性質を考えてどのような三角形なのかを考える。



⑬ 円と三角形は、どんな関係になっているのかな。

三角形の辺の長さを円の半径の長さで考えると、どの辺が同じ長さか分かり、どんな三角形か説明できるね。

振り返る②

7 本 時 (9 / 13)

(1) 目 標 (数学的な考え方) 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができる。  
 (2) 展 開 □ は教師の言葉掛け [ ] は予想される子どもの反応 ◆ は重点評価項目 ☆ はICT活用の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
<p>1 本時の学習課題を知る。                      折り紙で正三角形を作ろう。                      三つの辺の長さが等しい三角形だからこのあたりかな。                      二等辺三角形と同じで真ん中で折った折り目のところにあるよ。                      1枚の折り紙だけで正三角形を作ることできないかな。                      学習課題を確認する。                      1枚の折り紙で正三角形を作るには、どうすればいいのかな。</p>	<p>頂点はどのあたりにありそうかな。                      3枚折り紙を使ったら、どこが頂点かすぐに分かるよ。                      ドット図のときも正三角形は作れなかったから、難しいそうだな。                      二等辺三角形は作ることができたから、正三角形も作れると思うな。                      底の辺と同じ長さになる頂点を見付けるとしたら、真ん中の折り目と合うように底の辺を折るとできそうだな。                      三つの辺を真ん中の折り目で重なるように折っていけば、できそうだな。                      底の辺以外の二つの辺を真ん中の折り目にそれぞれ合わせて重ねたら、もう一つの頂点が見付かって正三角形になるぞ。</p>	<p>○ 三つの辺の長さが等しくなるような頂点がどこにあるのかを実際に調べ確認することで、前時に学習した二等辺三角形と同じように垂直二等分線上に頂点があることに気付くことができるようにする。                      ○ 折り紙を1枚だけ使って正三角形を作ることができなかつた」ということや「前時の二等辺三角形と同じようなやり方で考えれば作れるのではないか」ということを振り返らせることで「自分の問い」をもつことができようようにする。                      ○ 正三角形を作るためには、底の辺を折り曲げたり、底の辺以外の二つの辺を折り曲げたりして三つの辺が等しい長さになる頂点を見付けるとよという見通しをもつことができようようにする。                      ○ これまでの学習と同様に折り紙を実際に折りながら課題解決に取り組み。その際、折る前に折ったらどうなりそうか考えて(念頭操作)から折るようにする。また、「等しい辺の長さで考える」という「基盤となる考え方」に着目し、頂点がどこにあるのかを考えながら正三角形を作ることができようようにする。                      ☆ 「頂点」「等しい辺の長さ」という構成要素に着目しながら「学び合い」を行う。その際、電子黒板に提示されている友達のを比較し、自分の考えに付け加えたり、修正したりすることができようようにする。</p>
<p>2 課題解決の過程を話し合う。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて真ん中の折り目と合わさったところが見付けたら頂点になるよ。                      本時の学習についてのまとめをする。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ることができよう。</p>	<p>真ん中で折ると、どちらもピツタリ重なるから一つの辺で大丈夫だよ。                      底の辺は一回折り曲げるだけで頂点と違っていいのかな。                      真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>◆ 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができよう。                      [数学的な考え方：操作、発言]                      ○ 二つに折り曲げた折り紙から正三角形を作るという適用問題に取り組み。正三角形や二等辺三角形の定義(辺の長さ)を意識する問題に取り組みことでこれまでの活動を振り返るとともに、図形についての感覚を豊かにすることができようようにする。                      ○ 授業の最後に平面ではなく、立体の中にも正三角形が見えるということを紹介することで、平面図形と立体図形を関係付けようとする見方・考え方をもちることができようようにする。</p>
<p>3 課題解決の見通しをもつ。                      二つの辺を真ん中の折り目で重なるように折っていけば、できそうだな。                      課題解決に取り組み。                      底の辺以外の二つの辺を真ん中の折り目にそれぞれ合わせて重ねたら、もう一つの頂点が見付かって正三角形になるぞ。</p>	<p>底の辺と同じ長さになる頂点を見付けるとしたら、真ん中の折り目と合うように底の辺を折るとできそうだな。                      三つの辺が同じ長さになるためには、下の辺を真ん中の折り目に重ねると、頂点が見付かって、あとの二つの辺も同じ長さになるね。                      底の辺は一回折り曲げるだけで頂点と違っていいのかな。                      真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>○ これまでの学習と同様に折り紙を実際に折りながら課題解決に取り組み。その際、折る前に折ったらどうなりそうか考えて(念頭操作)から折るようにする。また、「等しい辺の長さで考える」という「基盤となる考え方」に着目し、頂点がどこにあるのかを考えながら正三角形を作ることができようようにする。                      ☆ 「頂点」「等しい辺の長さ」という構成要素に着目しながら「学び合い」を行う。その際、電子黒板に提示されている友達のを比較し、自分の考えに付け加えたり、修正したりすることができようようにする。</p>
<p>4 課題解決の過程を話し合う。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて真ん中の折り目と合わさったところが見付けたら頂点になるよ。                      本時の学習についてのまとめをする。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ることができよう。</p>	<p>真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>◆ 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができよう。                      [数学的な考え方：操作、発言]                      ○ 二つに折り曲げた折り紙から正三角形を作るという適用問題に取り組み。正三角形や二等辺三角形の定義(辺の長さ)を意識する問題に取り組みことでこれまでの活動を振り返るとともに、図形についての感覚を豊かにすることができようようにする。                      ○ 授業の最後に平面ではなく、立体の中にも正三角形が見えるということを紹介することで、平面図形と立体図形を関係付けようとする見方・考え方をもちることができようようにする。</p>
<p>5 ペアや3人グループで、考えを伝え合う。【学び合い】                      折り紙をどう折ったら、正三角形の頂点が見付かるのか自分の考えと比べながら聞こう。                      課題解決の過程を話し合う。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて真ん中の折り目と合わさったところが見付けたら頂点になるよ。                      本時の学習についてのまとめをする。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ることができよう。</p>	<p>真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>◆ 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができよう。                      [数学的な考え方：操作、発言]                      ○ 二つに折り曲げた折り紙から正三角形を作るという適用問題に取り組み。正三角形や二等辺三角形の定義(辺の長さ)を意識する問題に取り組みことでこれまでの活動を振り返るとともに、図形についての感覚を豊かにすることができようようにする。                      ○ 授業の最後に平面ではなく、立体の中にも正三角形が見えるということを紹介することで、平面図形と立体図形を関係付けようとする見方・考え方をもちることができようようにする。</p>
<p>6 課題解決の過程を話し合う。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて真ん中の折り目と合わさったところが見付けたら頂点になるよ。                      本時の学習についてのまとめをする。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ることができよう。</p>	<p>真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>◆ 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができよう。                      [数学的な考え方：操作、発言]                      ○ 二つに折り曲げた折り紙から正三角形を作るという適用問題に取り組み。正三角形や二等辺三角形の定義(辺の長さ)を意識する問題に取り組みことでこれまでの活動を振り返るとともに、図形についての感覚を豊かにすることができようようにする。                      ○ 授業の最後に平面ではなく、立体の中にも正三角形が見えるということを紹介することで、平面図形と立体図形を関係付けようとする見方・考え方をもちることができようようにする。</p>
<p>7 課題解決の過程を話し合う。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて真ん中の折り目と合わさったところが見付けたら頂点になるよ。                      本時の学習についてのまとめをする。                      底の辺や底の辺ではない二つの辺を折り曲げて、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ることができよう。</p>	<p>真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>◆ 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができよう。                      [数学的な考え方：操作、発言]                      ○ 二つに折り曲げた折り紙から正三角形を作るという適用問題に取り組み。正三角形や二等辺三角形の定義(辺の長さ)を意識する問題に取り組みことでこれまでの活動を振り返るとともに、図形についての感覚を豊かにすることができようようにする。                      ○ 授業の最後に平面ではなく、立体の中にも正三角形が見えるということを紹介することで、平面図形と立体図形を関係付けようとする見方・考え方をもちることができようようにする。</p>
<p>8 適用問題に取り組み。                      真ん中で折り曲げた下の部分が10cmのとき、定規を使って正三角形を作ろう。</p>	<p>真ん中で折ると、真ん中の折り目に合わせて考えると、頂点が見付かって正三角形を作ろう。                      二等辺三角形は、どこで切っても作ることができたけど、正三角形はやっぱり、一つしかできないんだね。</p>	<p>◆ 正三角形の定義を基に、折り紙で正三角形の作り方を考え、説明することができよう。                      [数学的な考え方：操作、発言]                      ○ 二つに折り曲げた折り紙から正三角形を作るという適用問題に取り組み。正三角形や二等辺三角形の定義(辺の長さ)を意識する問題に取り組みことでこれまでの活動を振り返るとともに、図形についての感覚を豊かにすることができようようにする。                      ○ 授業の最後に平面ではなく、立体の中にも正三角形が見えるということを紹介することで、平面図形と立体図形を関係付けようとする見方・考え方をもちることができようようにする。</p>